

28交流第7号
平成28年4月14日

活動組織各位

一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構
理事長 今村 奈良臣

森林・山村多面的機能発揮対策交付金による活動を実施する際の安全確保について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

活動組織の皆さまにおかれましては、森林・山村多面的機能発揮対策交付金の効果的かつ適正な執行につきまして、格別なるご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本交付金においては、林業を本業としない地域住民等による森林保全活動も想定されることから、活動の実施に当たっては、森林施業技術や動力機械の使用に係る事前研修等、きめ細かな安全対策が重要です。

今般、平成27年度に発生した本交付金の活動に関する災害として、各都道府県の地域協議会から林野庁に報告された事案が、別添のとおり示されました。活動組織におかれましては、これらの事故事例を踏まえ、安全確保のため、下記の取組を進めていただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 活動計画書の項目である「森林施業技術向上の取組及び安全対策」の確実な実行
- 2 ボランティア等、雇用関係がない者で構成している活動組織におかれましては、構成員への傷害保険の加入等

以上

平成27年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金の活動に関する災害

事例1

A都道府県内の活動組織において、間伐材の枝を破砕処理するため、裁断された枝を移動式粉砕機に入れ込む作業をしていた際、破砕ドラムが作動したまま移動式破砕機が突然後退し、作業を行っていた者が破砕ドラムに巻き込まれ左手指1～5指切断、左上腕骨骨折等の重傷を負った。

事例2

B都道府県内の活動組織において、支障木の伐採作業をしていた際、風の影響により伐採木が回転し予定していなかった方向に倒れ、6メートル離れた場所で別の立木の伐倒作業をしていた者に当たり、背骨の圧迫骨折等の重傷を負った。

事例3

C都道府県内の活動組織において、広葉樹の伐倒作業をしていた際、伐採中の立木の一部が裂けて跳ね上がる現象（バーバーチェア現象）が発生し、跳ね上がった部分が伐倒作業者と伐倒を指導していた者に当たり、伐倒作業者が左肩鎖骨骨折等の重傷を負った。（伐倒指導者は頭部打撲等の軽傷）